

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第8回会議の結果について

鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画審査室

「鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会」第8回会議を開催したので、結果についてお知らせします。

- 1 日 時 令和4年3月26日（土）午後1時から午後4時15分まで
- 2 場 所 さなめホール（米子市淀江文化センター：米子市淀江町西原） イベントホール
（※）傍聴は、さなめホール大ホール、とりぎん文化会館第2会議室においてモニター傍聴
- 3 出席委員 しまだじゅん 嶋田 純 熊本大学名誉教授【会長】、すぎたふみ 杉田 文 千葉商科大学教授、いとうひろこ 伊藤浩子 一般財団法人地域地盤環境研究所主任研究員、かつみたけし 勝見 武 京都大学大学院教授、こだまよしのり 小玉芳 敬 鳥取大学教授
（※）新型コロナウイルス対策のため、全委員がWEB会議で出席
- 4 結果（主な内容）
 - ・これまでの現地調査等に基づく各種解析（水理地質（※）構造及び水質特性、シミュレーションによる検証・再現解析等）の結果から、地下水の流動状況を確認した。
（※）水理地質：地下水の分布を含む地質
 - ① 計画地付近の地下水は「福井水源地」の方向には向かっていない。
 - ② 計画地付近の地下水の一部が「三輪山の清水」近傍を流れる可能性がある（流線図参照）。
 - ・なお、「三輪山の清水」は、当該地点の地層が複雑で湧出構造も不明なため、どの帯水層から供給されているのか、その水理地質上の判断が難しい。このため、同清水近傍で追加ボーリング調査を行い、計画地地下水の「三輪山の清水」への影響を明らかにすることとなった。
- 5 委員からの主な意見
 - ・水質特性、シミュレーションの結果が整合して地域の流動の特性が十分掌握された。
 - ・計画地地下水の「福井水源地」に対する流れの影響は、ほとんどないという評価結果が得られた。
 - ・「三輪山の清水」は利用者が多く、地元の人にとっては大切な水資源なので、はっきりさせた方が良い。
- 6 今後のスケジュール
 - ・「三輪山の清水」近傍で追加ボーリング調査を実施し、第9回調査会（夏頃）で最終取りまとめの予定。
- 7 傍聴
 - ・傍聴者は28名（西部会場：22名、東部会場：6名）。

第8回調査会で示された流線図

